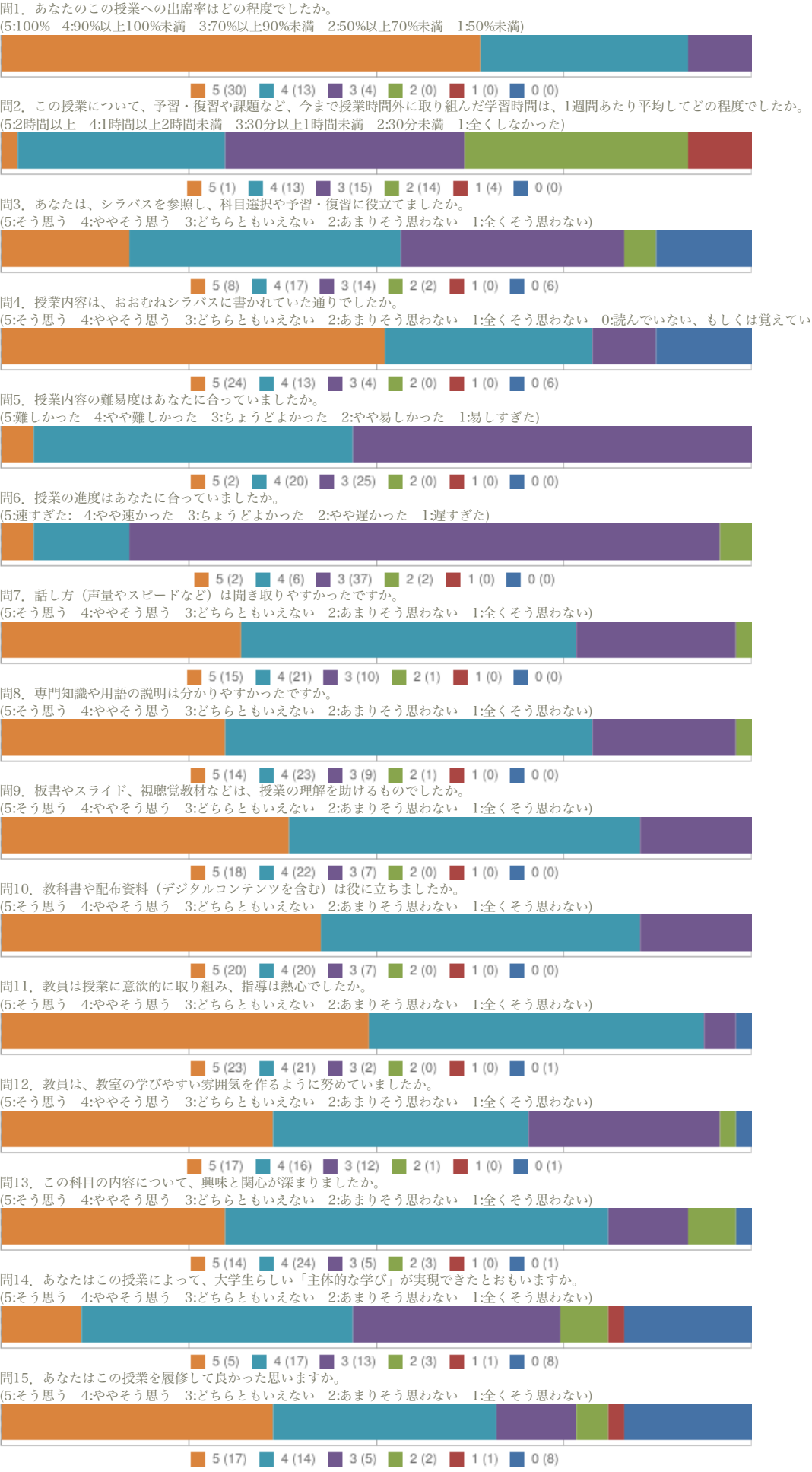
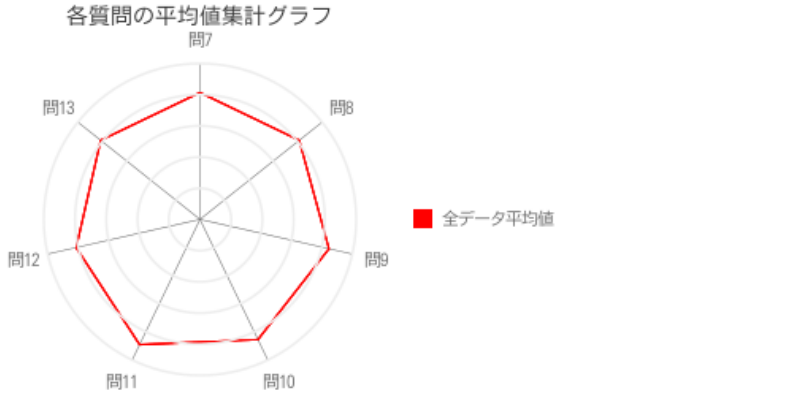


授業アンケート 2016年度 後期

コマ、学部	水3 昼間学部人間科学科目	全データ数	47
科目名	技術の社会史	7割出席データ数	47
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0



各質問の平均値集計												
	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	2.85	3.76	4.49	3.51	3.17	4.06	4.06	4.23	4.28	4.46	4.07	4.07
7割出席平均	2.85	3.76	4.49	3.51	3.17	4.06	4.06	4.23	4.28	4.46	4.07	4.07



所見票

● 授業アンケート集計結果について

【所見要約】授業アンケートの集計結果を見る限り、授業の仕方、難易度・進度、総合評価ともに特に問題はないように思います。自由記述については、講義内容や授業サイトによる学習サポートを良かった点に挙げた人がいました。他方、改善点として、中間テストの難易度に関することを挙げた人がいました（詳細は下記参照）。今後は、受講者のみなさんにもっと本を読んで学ぶことを促すような授業をしたいと思っています。

*

1. 授業アンケートの集計結果について

授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.1～4.5と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。授業の難易度と進度については、昨年度より「ちょうど良かった」という回答がやや増えました（難易度49%→53%;進度61%→79%）。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問13）および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」についても、平均値がともに4.1であり、総合的に見ても比較的良好な評価を得ています。

2. 自由記述欄の回答について

良かった点としては、「理解しやすかった」「普段自分で調べようとする大変な内容が分かりやすくまとめてあって、良かった」「電大の全く知らなかった事をへえと思えるくらい関心を持って知ることができた」「授業スライド、小テストなど、自習学習のためのサポートが行きとどいている」といった授業の内容および方法に関するものがありました。

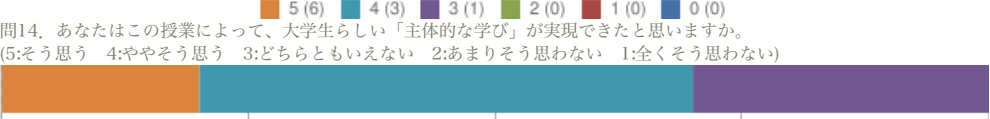
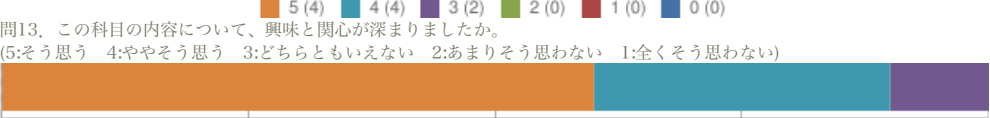
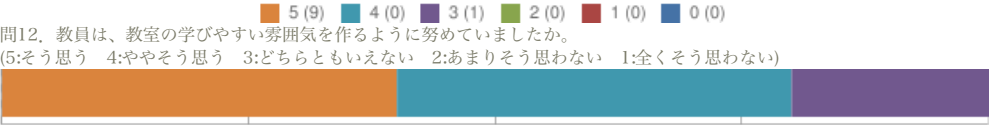
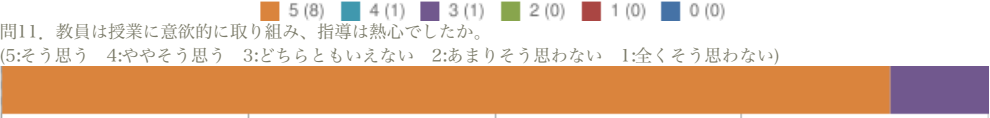
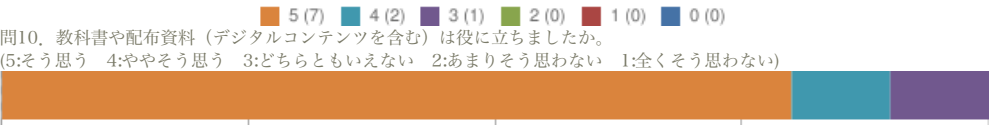
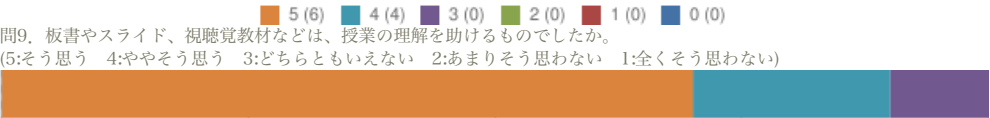
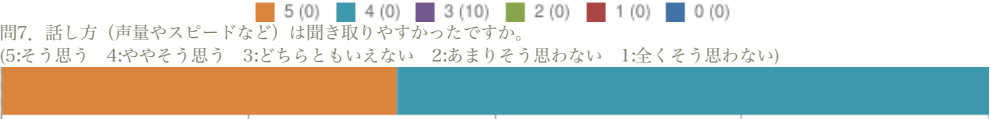
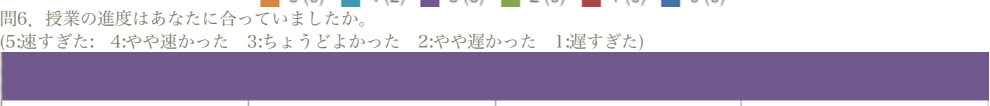
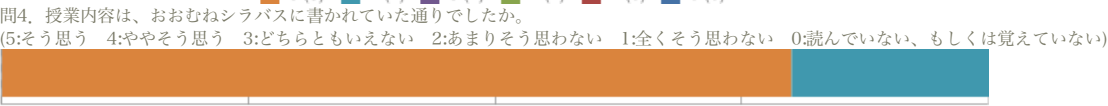
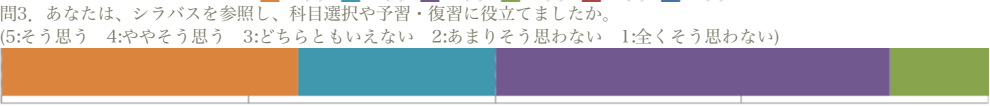
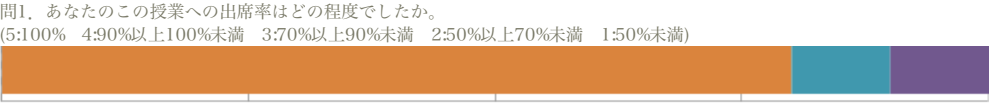
他方、改善した方が良い点としては、「小テスト総復習を毎回満点を取れるように繰り返し解いてきたのに中間テストでは小テストの範囲以外のことも聞いてきたり、問題の説明文の語句を微妙に変えてきて細かい所で知識を要求してきたりで、とにかくテストが難しすぎです」という指摘がありました。まず、テストの範囲については、小テスト以外からも出題することを授業中も授業サイトでも言っていました。また、きちんと理解しているかどうか確認するために、小テストの問題をところどころ変えていました。それは、中身をきちんと理解している人と、例題の正解の選択肢を記憶しているだけの人を区別するためです。歴史のテストに暗記で対応しようとするのは間違っています。歴史の流れと個々の出来事の関連をきちんと理解している人のみ高得点が得られるような問題を出すよう心がけています。ただ、中間テストの難易度が高かったことは確かですので、期末テストではより難易度を下げた形で出題しました。そのため、全体的な正答率は中間テストよりも期末テストの方が高くなりました。

3. 今後の授業改善に向けて

講義の仕方や授業サイトについて好評を得ているものについては、今後も継続していきたいと思っています。さらに、受講者にみなさんには、私の講義や授業サイトからだけでなく、関連する様々な参考書を読むことによって、考えを深め、知識を広めてほしいと思っています。そこで、今後は「読書」を私の授業の柱の一つに加えたいと考えています。

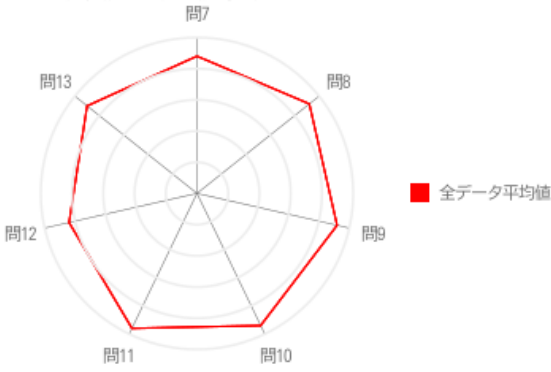
授業アンケート 2016年度 後期

コマ、学部	金1 昼間学部人間科学科目	全データ数	10
科目名	技術の社会史	7割出席データ数	10
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0



各質問の平均値集計												
	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.40	3.70	4.80	3.20	3.00	4.40	4.60	4.60	4.70	4.80	4.20	4.50
7割出席平均	3.40	3.70	4.80	3.20	3.00	4.40	4.60	4.60	4.70	4.80	4.20	4.50

各質問の平均値集計グラフ



所見票

● 授業アンケート集計結果について

【所見要約】授業アンケートの集計結果を見る限り、授業の仕方、難易度・進度、総合評価ともに特に問題はないように思います。自由記述については、オンライン小テストの導入を良かった点に挙げた人が複数いました。今後は、受講者のみなさんにもっと本を読んで学ぶことを促すような授業をしたいと思っています。

*

1. 授業アンケートの集計結果について
授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.2～4.8と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。授業の難易度と進度についても、「ちょうど良かった」という回答がそれぞれ80%と100%であり、大きな問題はないと思われます。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問13）および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」については、平均値がそれぞれ4.5と4.6であり、総合的に見ても比較的良好な評価を得ています。

2. 自由記述欄の回答について
良かった点としては、「授業サイトが使いやすく、小テストでより理解を深めることができたところ」「自分で復習するだけでなく、小テストという形で違う角度から復習できて良かった」「小テストで自分の知識を深められる点」「先生の解説や教え方がとても丁寧でわかりやすい」といった授業方法に関するものがありました。
他方、改善した方が良い点は特に記載はありませんでした。

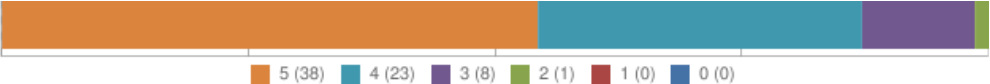
3. 今後の授業改善に向けて
講義の仕方や授業サイトについて好評を得ているものについては、今後も継続していきたいと思います。さらに、受講者にみなさんには、私の講義や授業サイトからだけでなく、関連する様々な参考書を読むことによって、考えを深め、知識を広めてほしいと思っています。そこで、今後は「読書」を私の授業の柱の一つに加えたいと考えています。

授業アンケート 2016年度 後期

コマ、学部	土3 第二部人間科学科目	全データ数	70
科目名	技術の社会史	7割出席データ数	69
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	98.6

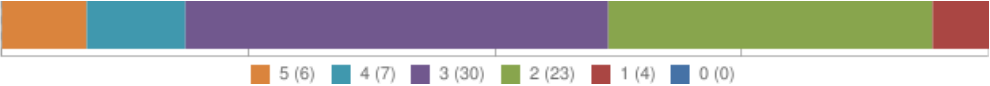
問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



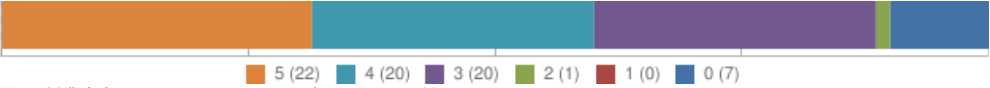
問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



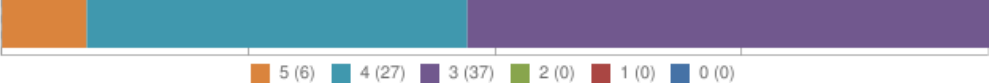
問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



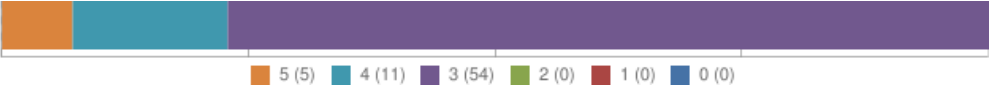
問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



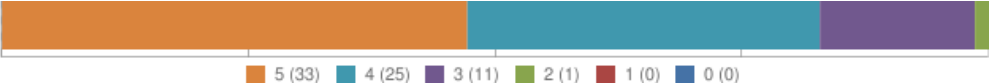
問7. 話し方（声量やスピードなど）は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



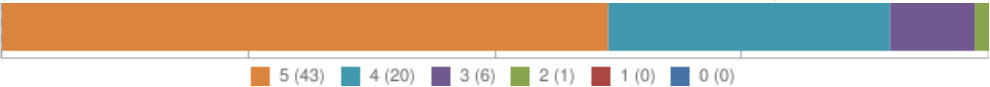
問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



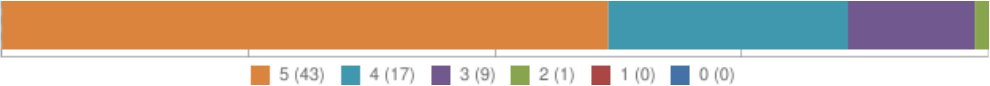
問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問10. 教科書や配布資料（デジタルコンテンツを含む）は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



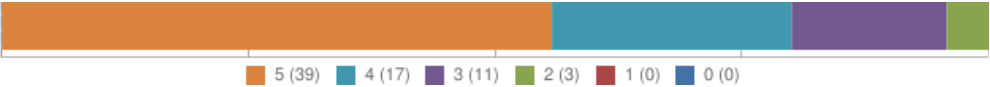
問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



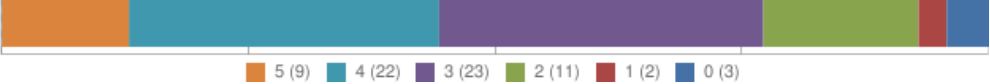
問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問14. あなたはこの授業によって、大学生らしい「主体的な学び」が実現できたと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. あなたはこの授業を履修してよかったと思いますか。

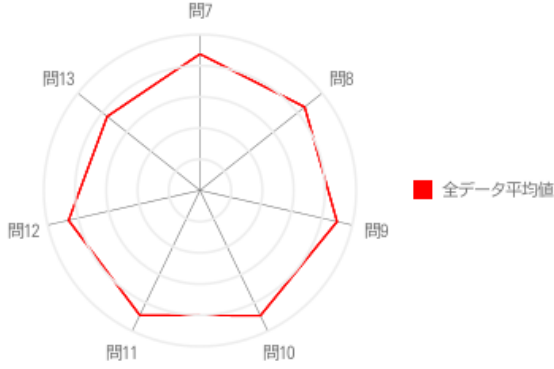
(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	2.83	4.00	4.52	3.56	3.30	4.37	4.29	4.50	4.46	4.44	4.31	3.80
7割出席平均	2.83	3.98	4.52	3.54	3.28	4.36	4.28	4.49	4.45	4.43	4.30	3.78

各質問の平均値集計グラフ



所見票

● 授業アンケート集計結果について

【所見要約】授業アンケートの集計結果を見る限り、授業の仕方、難易度・進度、総合評価ともに大きな問題はないように思います。自由記述では、良かった点として、講義内容、講義の仕方、授業サイトなどに関することを挙げた人が多数いました。他方、改善点として、話すスピード、教科書（参考書）、テストに関することを挙げている人がいました（詳細は下記参照）。今後は、受講者のみなさんにもっと本を読んで学ぶことを促すような授業をしたいと思っています。

*

1. 授業アンケートの集計結果について

授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.3～4.5と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。授業の進度についても、79%の回答者が「ちょうど良かった」と答えており、大きな問題はないと思います。授業の難易度については、53%が「ちょうどよかった」、39%が「やや難しかった」、5%が「難しすぎた」と答えており、若干難易度は高めだったようですが、大学の授業においてはやや難しいくらいがちょうどよいとも言えるので、ここでも大きな問題はないと思います。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問13）は平均3.8とやや低くなっていますが、自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」については、平均値が4.3であり、総合的に見ても比較的良好な評価を得ています。昨年度に比べ、全体的に評価は低くなっていますが、履修者数が昨年に比べてかなり増えている（56名→94名）ことも影響していると思われます。

2. 自由記述欄の回答について

良かった点としては、「歴史への感心〔関心?〕が高まった点」「毎回の講義で過去に居た技術者がどんな人だったかを学習できた所」「関連知識についての説明も多くしてくださり、感謝しています」など講義内容に関すること、「田中先生の説明がとても丁寧でわかりやすかった。社会史がとても楽しく感じました」「声がとても聞きやすかった。語句は明瞭だし余計な雑談もなく、良い講義だった。『内容をちゃんと伝えたい』という意思を感じた」「スライドで文字を読ませるだけでなく、映像や資料を多く使ってくれたので理解がし易かった」など講義に仕方に関すること、「シラバスに記載されている内容が明確で、先生が学生に期待している内容もわかりやすいので、半期の授業が初回で見通すことができました」「学習の指導にすること、「授業サイトがとにかく充実しており、各回の参考資料は授業を受ける際や予習・復習において非常に役に立つコンテンツでした」「スライドが全てサイトに上がっていて印刷できたので、先生の話に集中できた」「本授業は録音音声があり、復習するにあたって、とても役に立ちました」「小テストなどもためになりました。本当に自分の理解がないと分からないものばかりで自分は本当に分かったかを知る良い教材でした」など授業サイトのコンテンツに関すること、などが挙げられていました。

他方、改善した方が良い点としては、
(1)時間が無くなってくると話すスピードが急に速くなる。頭に何も入ってこないし逆につかれる。もっとスピードに合せてスライドを作ってほしい。
(2)安価で入手しやすい本を教科書にしてほしい。（村上さんの本の予約合戦がありました。）
(3)授業資料を配っていただけたらとてもありがたいです。
(4)テスト時にマークシートを用いているのは採点が楽だからですか？ 受ける方としては非常にやりずらかったです。
(5)テストでなぜシラバスに書かれているこの授業の説明が問題として出るのが分からなかった。

などの点が挙げられていました。
まず、(1)の授業の終り頃になると話のスピードが速くなることについては、途中で説明を詳しくしすぎて時間配分が予定通りでないときに生じます。時間に対して扱う内容を厳選して、余裕をもった講義になるよう心がけたいと思います。

(2)の主な参考書（厳密に言えば、「教科書」とは指定していませんでした）が入手しにくかった件ですが、実は、予約合戦になるほど入手希望者が多くなるとは思っていませんでした。教科書に指定しても購入しない受講者は多数いますので。しかし、今回の経験を受けて、今後は入手しやすい参考書を紹介するようにします。

(3)(4)についてですが、授業資料をウェブで提供していること、中間・期末の学力調査でマークシート方式を導入していることは、確かに教員の手間を省くことが主な理由です。膨大な資料を印刷・配布・保管し、学力調査を手作業で採点するために教員が費やす時間と労力はけっして少なくありません。そこで、可能なところは省力化を図り、その時間と労力を教育の質を高めるために使いたいと思っています。

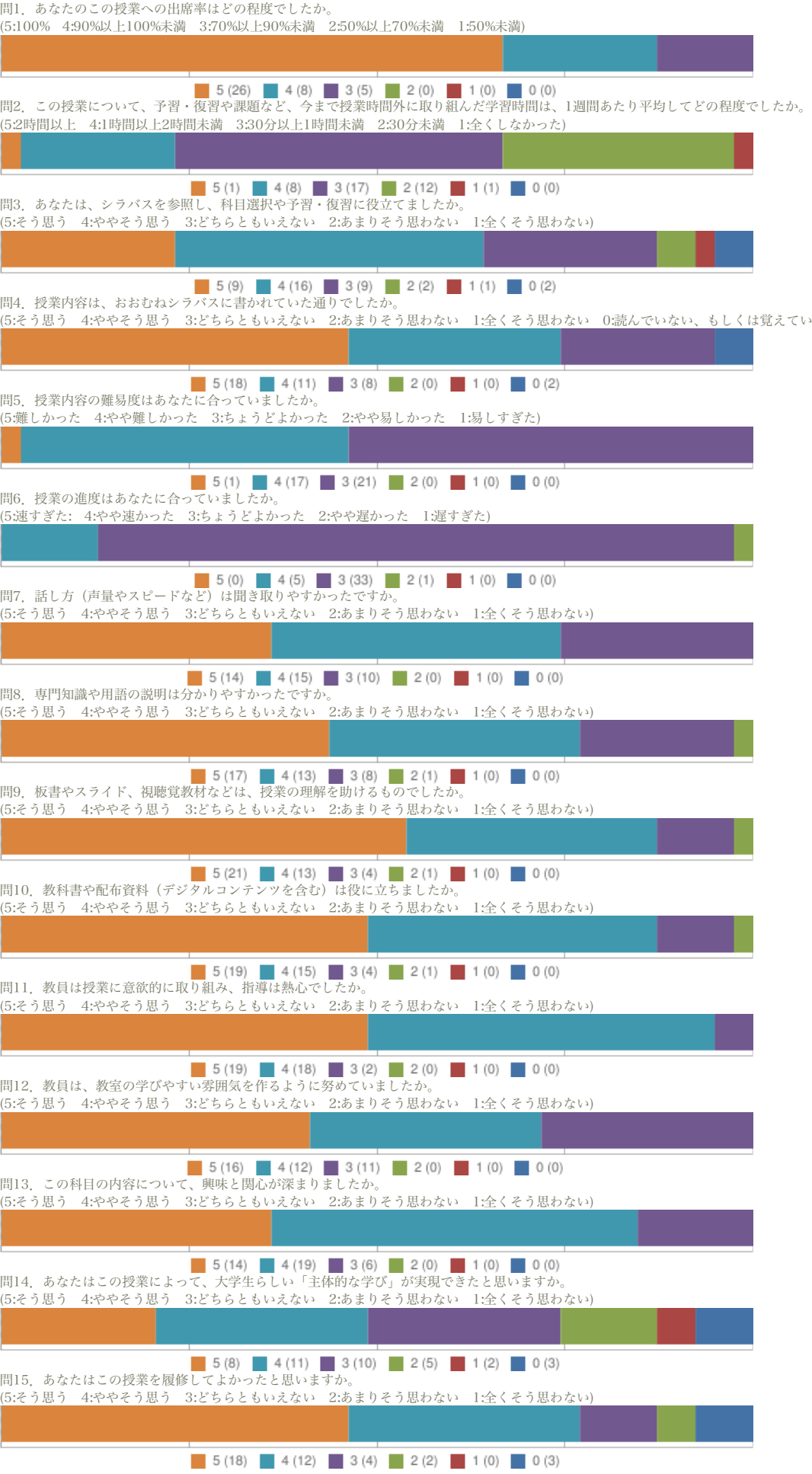
(5)について。シラバスに書かれていることやガイダンスで説明したことを学力調査の問題に含めるのは、それが本授業を受ける上で重要な情報だと考えているからです。全員が正答できるべきですが、実際テストをするとかかなりの数の人が正答できません。この出題は、シラバスの内容をきちんと理解して欲しいという教員からのメッセージと受け取ってほしいと思います。

3. 今後の授業改善に向けて

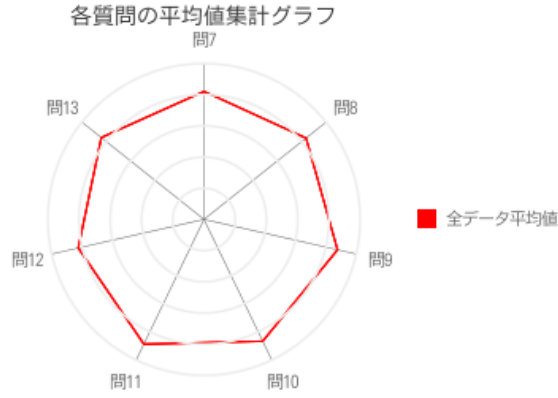
講義の仕方や授業サイトについて好評を得ているものについては、今後も継続していきたいと思います。また、講義内容を厳選し、ゆとりをもった講義を目指したいと思います。さらに、受講者にみなさんには、私の講義や授業サイトからだけでなく、関連する様々な参考書を読むことによって、考えを深め、知識を広めていってほしいと思っています。そこで、今後は「読書」を私の授業の柱の一つに加えたいと考えています。

授業アンケート 2016年度 後期

コマ、学部	金2 昼間学部人間科学科目	全データ数	39
科目名	科学技術と現代社会	7割出席データ数	39
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0



各質問の平均値集計												
	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	2.90	3.81	4.27	3.49	3.10	4.10	4.18	4.38	4.33	4.44	4.13	4.21
7割出席平均	2.90	3.81	4.27	3.49	3.10	4.10	4.18	4.38	4.33	4.44	4.13	4.21



所見票

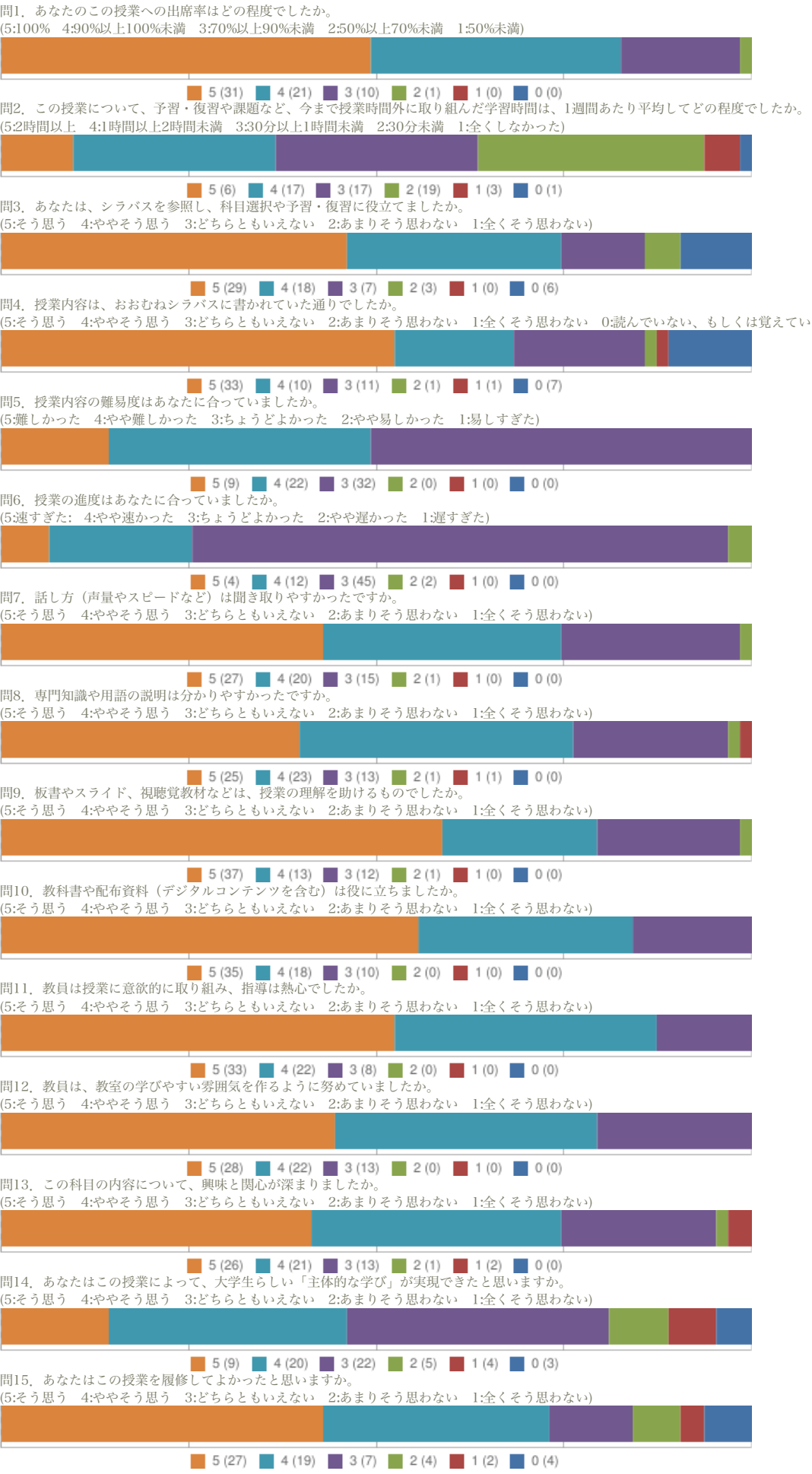
● 授業アンケート集計結果について

【所見要約】授業アンケートの集計結果を見る限り、授業の仕方、難易度・進度、総合評価ともに大きな問題はないに思います。自由記述では、良かった点として、説明の仕方、ビデオ利用、オンライン小テストなどに関することを挙げた人がいました。他方、改善点として、小テストに関することを挙げている人が複数いました（詳細は下記参照）。今後は、受講者のみなさんにもっと本を読んで学ぶことを促すような授業をしたいと思っています。

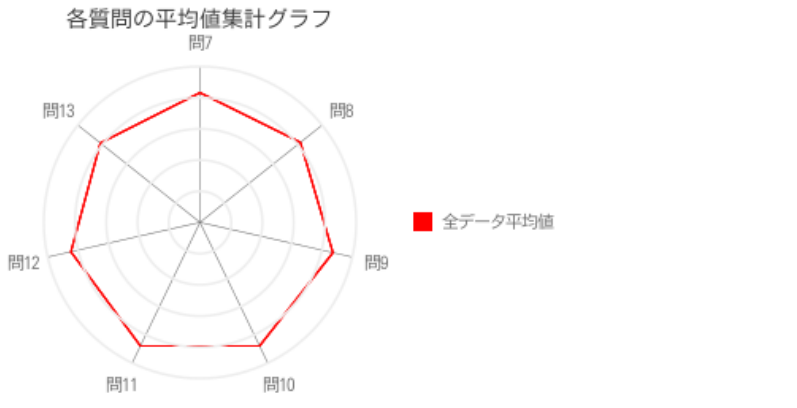
- *
1. 授業アンケートの集計結果について
- 授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.1～4.4と比較的良好評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。授業の難易度と進度については、「ちょうど良かった」という回答が、難易度54%、進度85%となり、本講義はやや難易度は高めかもしれませんが、大学の講義はやや難しいくらいがちょうど良いと考えていますので、大きな問題はないと考えます。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問13）および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」についても、平均値がそれぞれ4.2と4.3であり、総合的に見ても比較的良好評価を得ています。
2. 自由記述欄の回答について
- 良かった点としては、「口頭での説明が丁寧で、分かりやすかった」「ビデオ教材がとても分かりやすかった」「授業サイトも小テストで復習できて役に立った」といった授業の仕方や授業サイトに関するものがありました。
- 他方、改善した方が良い点としては、「小テストを元にした成績について。初回の結果だけの反映が、小テストを受けづらく感じたので、変更してほしい」「小テストに授業サイトの使い方は出さなくていいと思った。また、小テストを成績評価に含めないで欲しい」といった小テストに関する意見がありました。オンライン小テストの結果を成績評価に少しだけ（全体の10%）反映させることにしたのは、そうしないと小テスト機能を活用する人が少なくなると思ったからです。また、初回受験の結果のみを成績評価に反映させることにしたのは、そうしないと何も考えず全部にチェックをいれて答えだけ知ろうとする人が出てくるからです（かつてそうした人が見受けられました）。授業サイトの使い方についてはしっかり理解してもらいたいので、小テストにも学力考査にも出しました。しかし、小テストの結果が成績評価に反映されることを意識しすぎるのを避けるため、来学期は小テストの結果を成績評価に反映させないことにしたいと思います。
3. 今後の授業改善に向けて
- 講義の仕方や授業サイトについて好評を得ているものについては、今後も継続していきたいと思います。さらに、受講者にみなさんには、私の講義や授業サイトからだけでなく、関連する様々な参考書を読むことによって、考えを深め、知識を広めていってほしいと思っています。そこで、今後は「読書」を私の授業の柱の一つに加えたいと考えています。

授業アンケート 2016年度 後期

コマ、学部	土4 第二部人間科学科目	全データ数	63
科目名	科学技術と現代社会	7割出席データ数	62
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	98.4



各質問の平均値集計												
	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.06	4.28	4.30	3.63	3.29	4.16	4.11	4.37	4.40	4.40	4.24	4.08
7割出席平均	3.07	4.30	4.29	3.63	3.31	4.16	4.13	4.35	4.39	4.39	4.23	4.08



所見票

● 授業アンケート集計結果について

【所見要約】授業アンケートの集計結果を見る限り、授業の仕方、難易度・進度、総合評価ともに大きな問題はないように思います。自由記述では、良かった点として、ビデオ利用、オンライン小テスト、講義録音提供、講義内容などに関することを挙げた人がいました。他方、改善点として、教科書使用、小テスト、中間テストに関することを挙げている人がいました（詳細は下記参照）。今後は、受講者のみなさんにもっと本を読んで学ぶことを促すような授業をしたいと思っています。

*

1. 授業アンケートの集計結果について
授業の仕方に関する問7から問12までについては、5段階評価の平均値が4.1～4.4と比較的良好な評価を得ており、大きな問題はないと考えられます。授業の難易度と進度については、「ちょうど良かった」という回答が、難易度51%、進度71%となり、本講義はやや難易度は高めかもしれませんが、大学の講義はやや難しいくらいがちょうど良いと考えていますので、大きな問題はないと考えます。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問13）および自由設定した問15「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」についても、平均値がともに4.1であり、総合的に見ても比較的良好な評価を得ています。

2. 自由記述欄の回答について
良かった点としては、「ビデオによって、理解がふかまったり、ビデオの中でたりないものをおぎなったりしてくれて、とても興味を引かれる授業だった」といったビデオの活用に関すること、「小テストが自分の理かいをよりふかめるものとなったのでよかった」といったオンライン小テストに関すること、「授業サイトに、過去の授業音源があるため、聞きもらしなどを補完できる」といった講義録音の提供に関するものがありました。また、「核兵器に関する事実を知ることができる点は非常に良かったです。これまでの誤った認識を正すことができました」といった講義内容に関するものもありました。
他方、改善した方が良い点としては、
(1)教科書が欲しかったです。
(2)小テストを初めの1回だけ採点しないで欲しい。
(3)課題を出す代わりに、テストの内容を簡単にしたい。
といった意見がありました。
まず、(1)の教科書についてですが、今回の講義の内容全般にわたり解説されている手頃な本がないので教科書は指定しませんでした。その代わりに、授業サイトで各回の内容に関連する多数の文献を紹介しておきました。その中から、興味をもった本を読んで頂きたいと思っています。
(2)の意見の意味は、小テストの初回受験の結果のみを成績評価に反映させるのはよくないということだと思いますが、このやり方は、最初からきちんと自分で考えて解答してもらうための方策です。もし、そうしなかった場合、まず全部の選択肢にチェックを入れて採点結果を見ると、最初に正解を知ることができてしまいます。その上で受験すると、その後はすべて満点が取れてしまいます。何の勉強にもならない方法ですが、楽に良い成績が取れてしまいます。これを防ぐために、初回の点数のみ成績評価に反映させることにしました。しかし、小テストの結果が成績評価に反映されることを意識しすぎるのを避けるため、来学期は小テストの結果を成績評価に反映させないことにしたいと思います。
(3)は、テスト以外に課題を出すようにして、テストの問題は易しくして欲しいという要望でしょうか。中間調査の難易度は少し高めでしたので、期末調査ではやや難易度を下げています。

3. 今後の授業改善に向けて
講義の仕方や授業サイトについて好評を得ているものについては、今後も継続していきたいと思います。さらに、受講者にみなさんには、私の講義や授業サイトからだけでなく、関連する様々な参考書を読むことによって、考えを深め、知識を広めてほしいと思っています。そこで、今後は「読書」を私の授業の柱の一つに加えたいと考えています。